

平成
31年
1月号

Go! NEWS volunteers

東京都防災(語学) ボランティア ニュース

ごぼらにゅーす

【語ボラニュース】

東京都防災(語学)

ボランティアニュース(語ボラニュース)。



東京都防災(語学) ボランティアの皆様には活動情報や豆知識をお送りするメールニュースです。

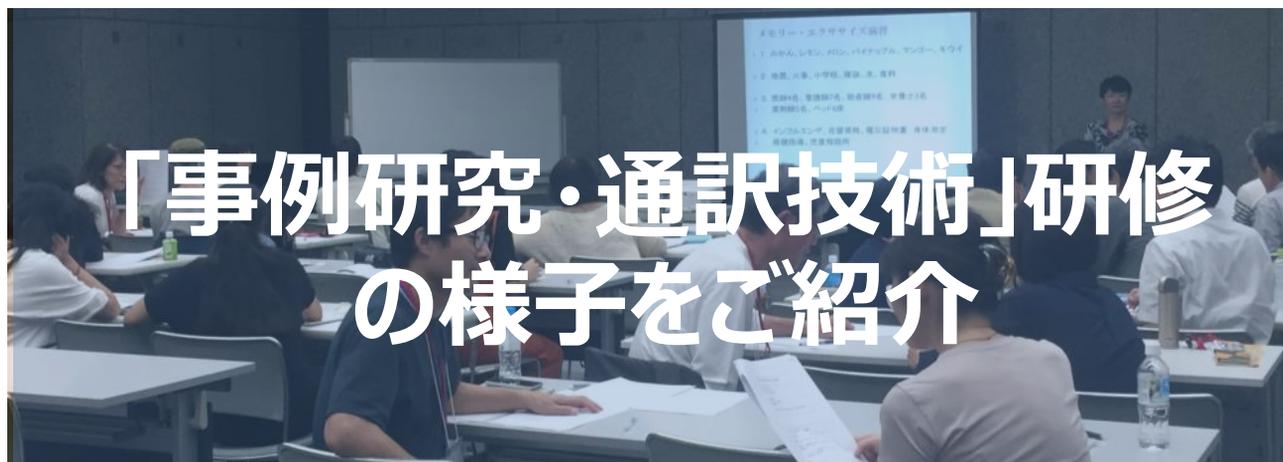
◎ 語ボラ研修の様子
をご紹介します

◎ 【写真で見る平常時活動】
「多言語翻訳支援シミュレーション
訓練・翻訳演習」

◎ 【重要】 語ボラ登録更新手続きについて

平成29年度より紙面デザイン等をリニューアルしました。本ニュースはメール配信のほか、東京都生活文化局公式ホームページでも最新号およびバックナンバーをご覧いただけます。
(※メール配信とホームページ上の公開時期が異なる場合がございます。)

先日最終回を終えた「事例研究・通訳技術研修」の様子をお伝えします。



「事例研究・通訳技術」研修の様子をご紹介

前半の事例研究は、高橋先生((特活)多文化共生マネージャー全国協議会理事)、後半の通訳技術は岩田先生(フリーランススペイン語講師)に講師をしていただきました。

～ どんな研修だったのか、受講生の声を交えてお伝えします ～

事例研究研修

研修は講義が中心です！熊本地震等の際に、実際に被災地で支援をされたご経験から、災害が起きた際に、外国人の方が何に困るのか等を実際の事例を交えながら、お話しいただきました。

「日本人には防災訓練で身についた「ストック」があるから災害時に即座に行動できる」等のお話がありました。外国人に対する防災を考えるにあたり、大変有益なお話しでした。

<参加者の声>

- ・災害現場での実態が分かった。
- ・ネット検索だけでは分からない内容を得ることができ、大変勉強になりました。



通訳技術研修

岩田先生の研修はワークが中心！プロの通訳である岩田先生から、実際の通訳技術向上の訓練方法を体験しました。メモリーエクササイズ・リプロダクション・・・日本語で行うのですが、これが難しく、悔しくなります・・・。最後は、災害時を想定したシナリオに基づき、各自の登録言語で通訳演習を行いました。

<参加者の声>

- ・ロールプレイで英語を使ったが、意外に難しく、刺激になった。
- ・今後、スキルを高めていくためのモチベーションになった。

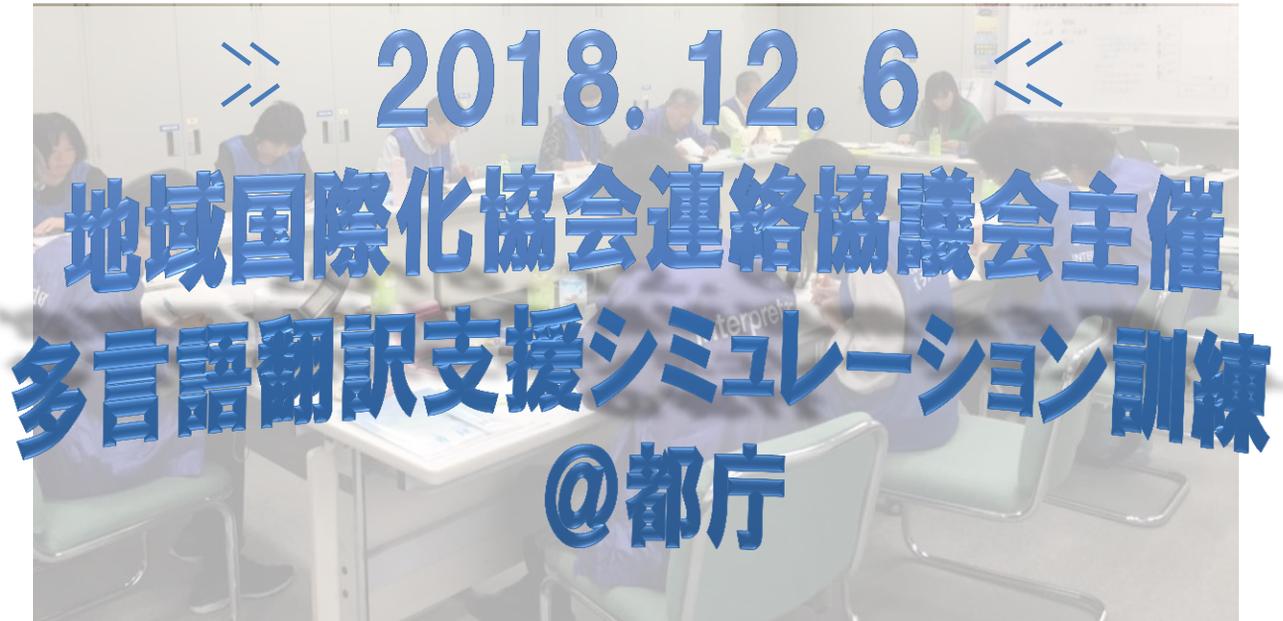


【写真で見る平常時活動】

「多言語翻訳支援シミュレーション訓練・翻訳演習」への参加



東京都防災（語学）ボランティアは、様々な防災普及啓発・訓練等に参加し、スキルアップを行っています。今回は、地域国際化協会連絡協議会主催で実施された「多言語翻訳支援シミュレーション」訓練に参加しました。



地域国際化協会とは

地域の国際化のためには、民間国際交流組織の活動が不可欠として、総務省が地域の国際交流を推進するにふさわしい中核的民間国際交流組織を「地域国際化協会」と認定しています。今回は、東京都において地域国際化協会として認定されている「東京都国際交流委員会」との協力の下、本訓練に参加しました。

多言語翻訳シミュレーション訓練

兵庫県で災害が発生したことを想定し、全国の地域国際化協会が兵庫県国際交流協会の情報発信を“翻訳”という形で後方支援する訓練でした。

（一財）自治体国際化協会が事務局となり、訓練に参加した各協会の語学ボランティアが翻訳作業を行いました。

都の担当者の中には、
随時「兵庫県で災害が発生」「翻訳に対応できる言語は？」などの連絡が入りました！！



課長より挨拶



翻訳は2人1組で必ず行うこととされていたため、ペアでご対応いただきました。

参加いただいた防災語学ボランティアは、英語6人、中国語4人、フランス語2人の計12人。本訓練は、多くの方にご応募いただいたため、一部の方にはお越しいただくことができませんでした。大変申し訳ありませんでした。

シミュレーション訓練で兵庫県からの翻訳依頼文書は2つの予定であったため、それ以外の時間帯は都が用意した文書を翻訳する「翻訳演習」を行いました。

翻訳作業の流れ

公開を想定した文書の翻訳訓練のため、2人1組（英語3班、中国語2班、フランス語1班と班分け）で翻訳をしていただきました。

1 翻訳文書を配布



2 まずは各自で翻訳

翻訳文書毎に、翻訳時間の目安を設けました。皆さん、凄いスピードで翻訳されていました。



各自、辞書等をお持ちいただきました。

3 ペア（班毎）で話し合い

各自が翻訳したものを参考に、班で話し合い、二人がチェック済の翻訳文書を班毎に作成していただきました。



シミュレーション訓練にご協力いただいたボランティアの皆様、本当にありがとうございました。

翻訳を行っていただいた後は、全員で振り返りを行いました。

振り返りでは、語学ボランティアの皆様より、「この翻訳はしにくい」「日本語がより明確だともっと伝わりやすいのではないか」「元々の知識も大切だ」など様々な感想やご意見をいただきました。



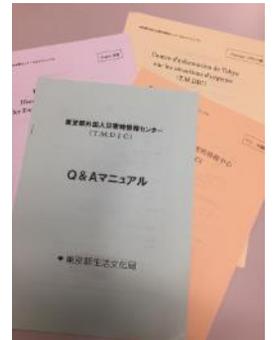
その際、翻訳の用語集が欲しいとのお声がありました。平成29年3月号の「語ボラニュース」に掲載がありますが、改めて以下2つをご紹介します。

◎災害時のQ&Aマニュアル

災害発生時に外国人から寄せられる質問(避難所、災害情報の入手方法、証明書等)に対応するためのQ & Aマニュアル。翻訳は、防災(語学)ボランティアの方々に協力していただいたものです。

日本語、英語、中国語、韓国・朝鮮語、フランス語、スペイン語、ドイツ語、ポルトガル語、インドネシア語

(ご購入の方は生活文化局都民生活部地域活動推進課国際交流担当 03-5320-7738 までお問い合わせください)



◎「災害時語学サポーターのための用語集・表現集・参考資料」

(一財)自治体国際化協会が、災害時に必要となる550にわたる用語・表現を6言語(英語、中国語、韓国・朝鮮語、スペイン語、ポルトガル語、フィリピン語)で掲載しています。

【(一財)自治体国際化協会のホームページ】

<http://www.clair.or.jp/j/multiculture/tagengo/support.html>

災害時語学サポーターのための
用語集・表現集・関係資料

登録証を紛失された方は再発行いたしますので、下記のお問合せ先までご連絡ください。

◎【重要】お手元の登録証の更新手続きについて

東京都防災(語学)ボランティアの登録期間は5年です。平成26年度に新規登録又は登録更新された方は、平成31年3月末が期限となります。期限が切れる前に、更新の手続きをお願いします。(更新がない場合には、失効し、登録削除をいたします。)

登録番号が14E○○○○、14C○○○○...など、「14」から始まる番号の方は、今回の更新手続きの対象です。該当の方には別途郵送にて更新書類をお送りしております。また、平成31年1月29日にメールもお送りしておりますので、ご確認の上、お手続きをお願いいたします。

もし、更新対象でありながら、郵送通知等が届いていない場合は、再送いたしますので、下記のお問合せ先までご連絡ください。

Q：登録証には第一言語しか記載がありません。第二言語として登録した言語については活動依頼はないのでしょうか？

A：第二言語についても、活動機会がある場合には募集等ご案内をいたします。ただし、言語によっては活動機会が少ない場合もございますので、ご了承ください。

≪語ボラニュースの内容に係るお問合せはこちら≫



〒163-8001 東京都新宿区西新宿二丁目8番1号
東京都生活文化局 都民生活部 地域活動推進課
東京都防災(語学)ボランティア担当

e-mail : S8000224@section.metro.tokyo.jp

TEL 03-5320-7738 FAX 03-5388-1331

(参考)

東京都生活文化局 公式ホームページ (語ボラ関連ページ)

http://www.seikatubunka.metro.tokyo.jp/chiiki_tabunka/tabunka/tabunkasuishin/0000000145.html

語ボラニュースに係るご意見などもございましたら、お気軽にお寄せください。